

百済王族伝説の証 師走祭り

(記録保存すべき無形の民俗文化財選択、文化庁)

古より連綿と続く“師走祭り”は百済伝説の証とされ、1,000年余も村人にかたくなに守り継がれてきた。

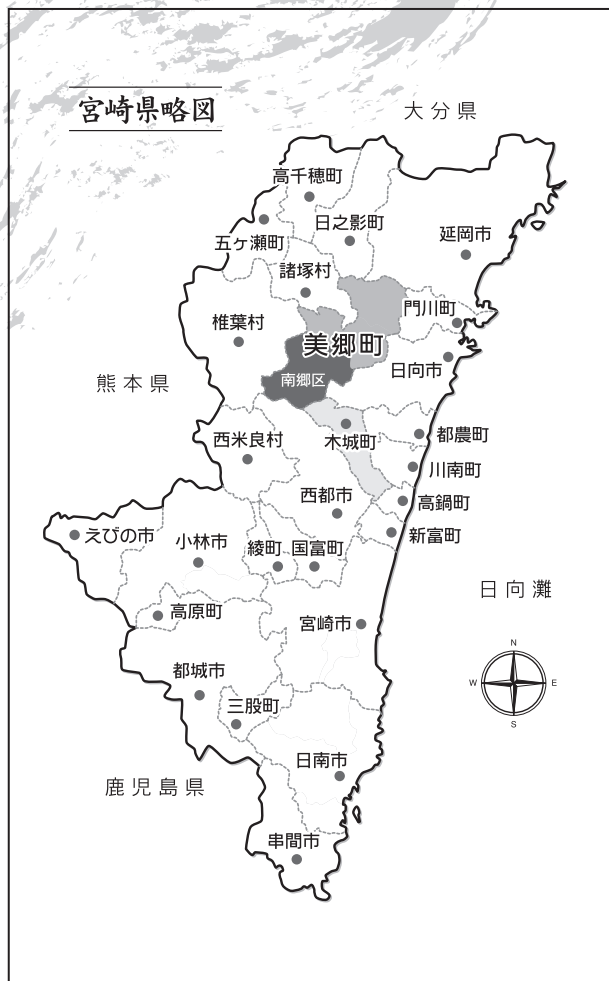


この祭りは、異国の地で離ればなれに祀られている王族の御霊をなぐさめる形で催されるといわれ、木城町の比木神社に祀られた王子が父王を祀っている南郷区の神門神社を訪れ再会するという。

全国的にも極めて古い形態を残しており、百済の風習も残るという、90キロメートルもの巡行など、他に類例のない不思議な祭りである。

物静かな行列は古代の雰囲気を残し、この期間、村里は祭り一色に染まる。中でも初日、夕闇せまる神門神社付近で天をも焦がさんばかりの神を迎える火は荘厳でそのスケールには誰もが圧倒される。その中を一行は、感激の面持ちで神社本殿へと進む。

この祭りは旧暦にあわせて行われてきたが、かつては全行程を徒歩で9泊10日であったものを、現在は車で行き来することから3日間となっている。今では1月下旬の金・土・日に催されている。



日程 平成25年 1月 25日(金) ^{のぼ}上りまし
26日(土) 祭典／舞明かし
路程 27日(日) ^{くだ}下りまし

木城町 比木神社 ▶ 美郷町南郷区 神門神社

みどころ

第1日目: 上りまし 木城・比木神社→神門神社

- 午後2時ごろ …… 伊佐賀神社で親子の対面
- 午後4時ごろ …… 塚の原での祭典・野焼き
- 午後6時ごろ …… 一本鳥居での迎え火

第2日目: 祭典／舞明かし 神門神社周辺

- 午前10時30分 …… ご神体、衣替え
- 午後3時ごろ …… 神社裏山での山宮参り
- 午後4時ごろ …… 小丸川岸での洗濯行事
- 午後7時ごろ～ …… 夜神楽

第3日目: 下りまし 神門神社→木城・比木神社

- 午前11時ごろ …… 境内でのヘグロ塗り
- …… 一本鳥居でのお別れ

百済の里・美郷町南郷区

◎お問い合わせ先◎

美郷町役場南郷支所企画情報課

百済の里・美郷町観光協会南郷支部

〒883-0306宮崎県東臼杵郡美郷町南郷区神門287番地

TEL.0982-59-1601 FAX.0982-59-1119

URL <http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/>

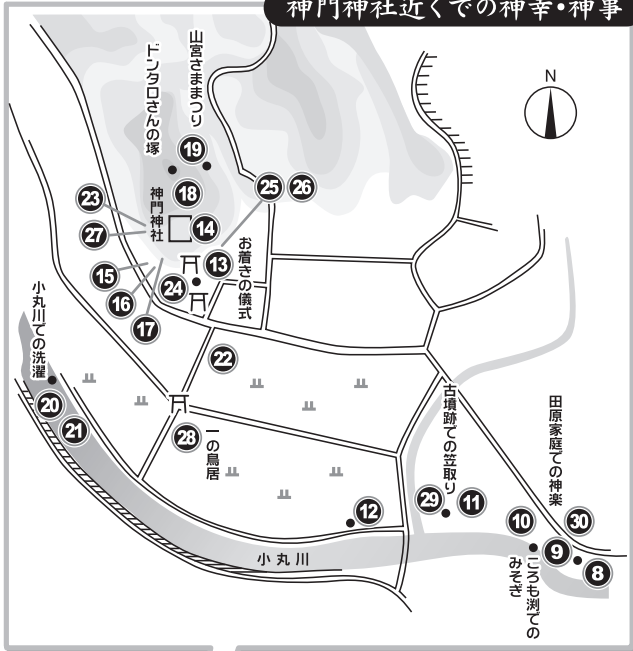
師走祭り



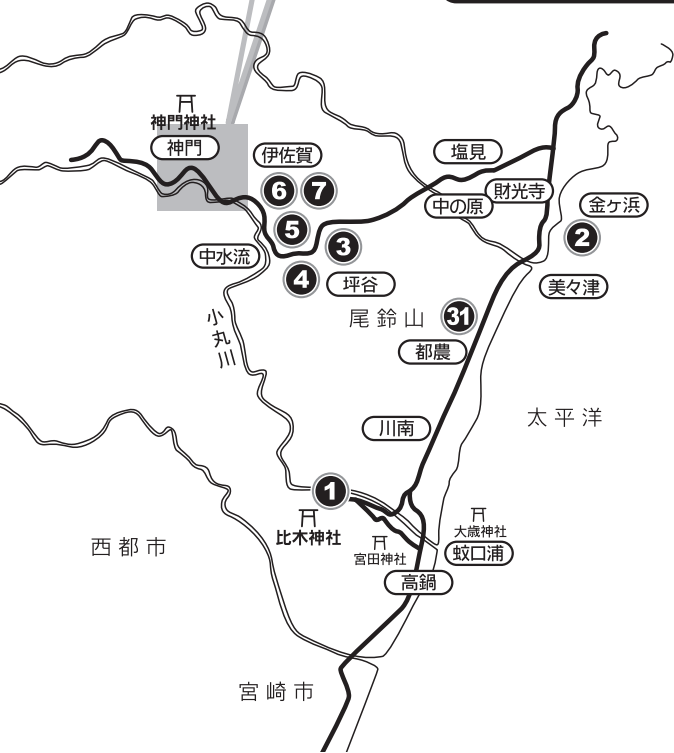
百済の里・美郷町南郷区

現在行われている [師走祭り] 全行程概要

神門神社近くでの神幸・神事



神門御神行路程図



祭事番号	場所	巡幸祭事	概要・解説	時間行程	距離
1	木城町比木神社	出発	比木神社に集まった神職以下18人が神門へ出発する。	のぼりまし(1日) AM 8:00	0km
2	日向市金ヶ浜	海でのみそぎ神事	神門の父王(禰嘉王)が漂着した金ヶ浜での神事, 神職海中でみそぎ。	のぼりまし(1日) AM 8:50	
3	東郷町卸児	祭典・神楽	王族入村のおり一行の中に赤ちやんが誕生したという塚だごみやで神事。	のぼりまし(1日) AM 11:10	
4	東郷町坪谷神社近辺	祭典・神楽	故人若山牧水の少年時代「想い出の記」にも出てくる祭事が坪谷神社で行われる。	のぼりまし(1日) PM 12:10	(移動)
5	東郷町中水流	祭典・昼食	神門に近づいた比木の一行は、田中家で昼食をとり、神門の一行を待つ。	のぼりまし(1日) PM 1:00	
6	南郷区小又吐	小丸川での神事・昼食	あぶら田刈にて出迎えるの神門一行は昼食をとる。	のぼりまし(1日) AM 12:00	
7	東郷町中水流(伊佐賀神社)	祭典・神楽	次男華智王を祀る伊佐賀神社にて二社が合流, 神事が行われる。(追打軍との戦いのあった古戦場)	のぼりまし(1日) PM 2:00	8.3km
8	南郷区下名木(塚の原古墳)	祭典・神楽直会・野焼	伊佐賀で合流した一行は神門を先頭に、一路、王の墓といわれる「塚の原古墳」へ。神門の村人の出迎えを受け、式典と神楽、村人との直会のあと出発。敵の目をくらますため野に火を放ったという故事にのっとり野火、昔の道をたどる。	のぼりまし(1日) PM 3:50	
9	南郷区米上祭事跡	一拝	この場所は古代の道に沿った祭事場であったが、道路の関係で昭和40年代から祭事が途絶えていたものが復活する。	のぼりまし(1日) PM 3:50	
10	南郷区石田(衣淵田原家)	みそぎ祭	小丸川で一行は再度みそぎをする。神門神社の見えるこの位置から神社を遥拝するかたちで祭典が行われる。	のぼりまし(1日) PM 5:30	
11	南郷区南郷中グラウンド内(塚跡地)	ご神体の笠とり	父王を祀る神門の社に入るにはここで比木の御神は笠を取らねばならない。昔塚のあった場所がその儀式的場所、ここからは昔の道を通る。	のぼりまし(1日) PM 5:55	(移動)
12	南郷区小路前田	ごあいさつ迎火	行列は神門の地主権権へごあいさつ。高さ10mにも及ぶ迎火の炎、30数基の火の中を行列は神社へ向かう。	のぼりまし(1日) PM 6:00	
13	神社境内二番目の鳥居	鳥居神社	神門境内でのお着きの儀。	のぼりまし(1日) PM 6:00	
14	神社本殿	到着	夕やみの本殿によりやく到着。ご神体をおさめ、御小屋を清めて一日が終わる。	のぼりまし(1日) PM 7:30	7km

祭事番号	場所	巡幸祭事	概要・解説	時間行程	距離
15	神社本殿	ご神体お焚き事	白い內衣型の上着, 顔いっぱい白マスク, 神門, 比木の両社の宮司だけが本殿に入る。	中の日(2日) AM 10:30	
16	神社本殿	昼食神楽道具作り	お衣替えのあと夜神楽の道具準備。昼食(昔から餅のみときまっている)	中の日(2日) AM 12:00	
17	神社本殿	祭典	本殿にて祭典。	中の日(2日) PM 2:00	
18	ドンタロ塚	ドンタロ祭将軍神社	王を助けた地元豪族ドンタロさんへお礼といわれる祭り。太鼓のドンを合図に「オー」の将軍神楽。	中の日(2日) PM 3:00	
19	山宮さま	神事・神楽	家畜, 農事の神事神楽奉納。	中の日(2日) PM 3:00	
20	小丸川岸	洗濯行事	王の衣類を洗濯したという故事にならう。	中の日(2日) PM 4:00	
21	小丸川岸	川原で野焼	川の土手一面の枯草に火を放つ。	中の日(2日) PM 4:00	
22	石塚	川原から石塚へ	神職伶人、氏子みな石2個を川原より拾い石塚へ運ぶ。何百年も続く行事, 石が増えない石塚。	中の日(2日) PM 4:00	
23	神社本殿	社殿を3回まわる	社殿を静かに3回左回りし、石段を下り、石の鳥居で引き返すデモンストラーション。	中の日(2日) PM 5:00	
24	境内地(御神屋)	夜神楽	夜神楽(高鍋神楽)18番。優美、優雅なものから、ユーモラス、エロチックなものまで多彩である。神楽御神屋は笹竹置き、3隅のいりり、ふるまわれる焼酎, 神楽せり唄。	中の日(2日) PM 7:00 PM 12:00	
25	境内地	お別れ式	お別れ食事。神前の魚の塩焼きを着てまわしながら食する儀式。	くだりまし(3日) AM 10:30	
26	境内地	ヘグロ塗り	別れの悲しみを隠すためにヘグロを塗ったといわれる。出発準備。	くだりまし(3日) AM 11:00	
27	神社本殿	祭典	最後の祭典。	くだりまし(3日) AM 11:30	
28	一本鳥居	お別れ行事	「くだりまし」比木神社が先頭に立ち、行列は動き出す。婦人たちは、炊事道具を手に手に送る。横に3歩ずつ歩きながら「オサナバー」。	くだりまし(3日) AM 11:30	
29	南郷中グラウンド内(塚跡地)	両社お別れ笠つけ	笠取り塚にて最後のお別れがしめやかに行われ、御神体に笠を付け国道に出る。	くだりまし(3日) AM 12:00	
30	米上	洗顔	塗られたヘグロを米上集落の当番の家でおとし、茶を一服する。	くだりまし(3日) AM 12:00	4km
31	都農町藤見	祭典・神楽	昔の御神幸最後の宿泊地での神事。これにて3日間の祭りは終わる。一路比木へ。	くだりまし(3日) PM 3:00	7km

*都合により、若干の時間等の変更が生じる場合があります。